

6 未曾有の被害から離島を復興させた北海道南西沖地震 (奥尻島) の治山事業

北海道 (奥尻町)



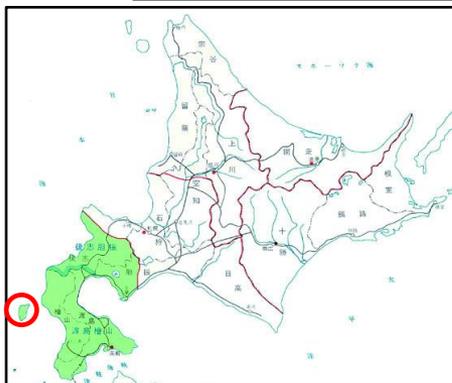
被災直後 (平成5年)



施工中 (平成5年)



現在の状況 (平成25年)



完成 (平成6年)

○所在場所

北海道奥尻郡奥尻町

○施設・工法の概要

地震により林地崩壊した山腹斜面に法切工・土留工・法枠工・吹付工等を設置

○解説

平成5年7月12日にマグニチュード7.8の大地震が発生し、多数の犠牲者を出す大惨事になりました。この地震により、奥尻島ホテル洋々荘裏の観音山の林地崩壊をはじめとして、多数の国有林において甚大な被害が発生しました。

被災直後には危険木の処理やロックネットの敷設等緊急措置を実施したほか、復旧対策を説明するなど、地元住民の不安解消に努めました。また、当初地震により大量に発生した崩壊土砂の運び込み場所の確保に苦慮しましたが、国有林内に場所を確保したことから、ホテル洋々荘裏の観音山をはじめ散在する崩壊地の崩土除去や倒木処理を行いました。これら早急な災害復旧工事に加え、その後の緑化工事により、現在では森林が回復し、安全で安心な地域づくりが図られています。

